

次の文章を読んで、①～⑦に答えなさい。

(45分)

【著作権の関係から設問のみ】

2

次の文章を読んで、①～⑤に答えなさい。

- ① ①の部分⑥、⑦、⑧を漢字に直して楷書で書きなさい。
- ② 「こんなものなだろう」とはどういうことか。文章中の言葉を用いて説明しなさい。
- ③ ③の中に入る適切な語句を、これ以前の文章から五字で抜き出して答えなさい。
- ④ 「部分的な……行き来する」を比喩的に言い換えた一文が完成するように、( )に続く適切な表現を十字程度で抜き出して答えなさい。
- ⑤ 「『』が見つかるとあるが、それについて説明したものとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 描く対象の部分に注目したり全体を確認したりしているうちに、作品が表現しようとする真のテーマに気がつくということ。
- イ 事物を階層的にとらえる順序は人によって異なるので、人は互いに邪魔しないよう振る舞っていることに気がつくということ。
- ウ 静物画の一部に視点を止めたまま移動すると、描かれた世界が実物のような印象で迫ってくるのに気がつくということ。
- エ 作品の荒い筆跡に注目していると、いつしか画面全体を見つめており、写実的な世界に取り込まれているのに気がつくということ。
- ⑥ ⑥の中に入る言葉として最も適当なのはア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 右往左往 イ 支離滅裂 ウ 大同小異 エ 千変万化
- ⑦ 「アートこそ、……かもしれない。」とあるが、筆者はなぜそのように言うのか。文章全体を読んでわかりやすく説明しなさい。

【著作権の関係から設問のみ】

(出典 齋藤亜矢の文章による)

(出典 島田修三「歌のある生活」)

次の文章を読んで、①～⑦に答えなさい。

- 国(3)
- ① 「舟泊す」の意味に当たる言葉を、文章から正確に抜き出して書きなさい。
- ② 「柵なし小舟」は、和歌にどのような舟として詠まれているか。その性質を端的に表した一語を、文章から抜き出して書きなさい。
- ③ 和歌の意味上の切れ目となっている句として、最も適当なのはア～オのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 初句 イ 二句 ウ 三句 エ 四句 オ なし
- ④ 「心を……意味合い」とあるが、この和歌の作者はどのようなことを「思いや」としているというのか。その内容として最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 港を出た舟はいつになったら港に帰ってくるのだろうか。
- イ あの舟は今ごろどこを漕ぎ回っているのだろうか。
- ウ あの舟は今ごろどこかの港に無事に停泊しているのだろうか。
- エ かつて見かけた舟はいつかの岬を巡っているのだろうか。
- ⑤ 「そこ」の指す内容を、和歌に即して具体的に説明しなさい。

【著作権の関係から設問のみ】

- (出典 田中彩子「石の神」)
- ① ①の部分⑥、⑦の漢字の読みをひらがなで答えなさい。
- ② 「心の臓を……心地」とあるが、この時の「寛次郎」の気持ちを説明したものととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 申吉の地蔵を見て一瞬で魅了され、出来映えを讚美する気持ち。
- イ 申吉の地蔵を見て不審と反発を抱く一方、悔しく思う気持ち。
- ウ 申吉の地蔵を見て完成度の高さに驚き、自らを恥じる気持ち。
- エ 申吉の地蔵を見て驚き恐れ、自信が碎かれて落胆する気持ち。
- ③ 「寛次郎は……顔を上げた」とあるが、なぜそのようになったのか。わかりやすく説明しなさい。
- ④ ①に入ることはとして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア うっかり イ こっそり ウ しぶしぶ エ ふらふら
- ⑤ 寛次郎が申吉の地蔵を見た時に想起した幻想世界を描いた形式段落を一つ抜き出し、最初の三字を答えなさい。
- ⑥ 「ふとなにかが胸に落ちた」とあるが、それはどういうことか。わかりやすく説明しなさい。
- ⑦ 本文の内容と表現について説明したものととして最も適当なのは、ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
- ア 得体の知れない雰囲気醸し出す地蔵を通じて、申吉の具体的な人物が浮き彫りになっている。
- イ 寛次郎に寄りそった視点を通して、周囲の人々の反応を描写することで、地蔵の評価に客観性を持たせている。
- ウ 寛次郎の親方に対する素直な物言いに、物怖じしない寛次郎の性格が表れている。
- エ 寛次郎の主観的な捉え方が、親方の言葉により動揺することをきっかけにして、より深い思索へと向かっている。